

ごうつ

# 市議会だより

はままつ さとみ  
題字：濱松 里美さん(津宮小学校6年)



春爛漫 波積チューリップ祭

2011. 5  
No.106

## 3月定例市議会報告

### 新年度予算決まる

議会の動き・新年度予算審議	.....	2・3
行政に問う(一般質問)	.....	8

## 平成23年 3月(第1回)定例会日程

2月28日 日本会議 (議案上程・提案説明・質疑・討論・採決) (議案上程・提案説明・質疑・委員会付託)	3月3日 日本会議 (議案上程・提案説明・質疑・委員会付託) (一般質問)	4日 日本会議 (一般質問)	8日 委員会 (総務文教委員会)	9日 委員会 (建設厚生委員会)	10日 日本会議 (議案上程・提案説明・質疑・討論・採決) (委員長報告・質疑・討論・採決)
---	--	----------------------	------------------------	------------------------	---

# 3月議会定例会

平成23年第1回議会定例会が、2月28日から3月18日までの19日間の日程で開かれ、平成23年度当初予算を始め、市長提出議案34件が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

また、一般質問では9名の議員が市政全般にわたって、市長の考えをたどりました。



## 平成23年度当初予算決まる

一般会計

152億1,700万円

特別会計

53億7,803万円

### 予算委員会審査内容

予算審議結果

一般会計当初予算

・原案可決【賛成多数】

特別会計当初予算

・原案可決【賛成全員】

(国民健康保険事業、国民健康保険診療所事業、後期高齢者医療事業、住宅新築資金等貸付事業、公共下水道事業、簡易水道事業、農業集落排水事業)

問 入湯税の減額見込みの理由は、前年度の決算見込みに基づき当初の予算を編成しているが、入湯客減少が考えられるため。

問 固定資産税の現年課税分について、昨年より1.1ポイントプラスした背景は、

前年度の決算見込みにおいて、当初予算の徴収率が上向いていること、徴収努力をすること、を加味したため。

問 リサイクルで回収されたアルミ等の売却代金について昨年に比べ倍近い増額となっている理由は、

回収量は大きく変わらないが、単価が昨年に比べ倍近い増額の計上としている。

水道事業会計当初予算  
・原案可決【賛成全員】

反対討論

多田 緊急経済・雇用安定化対策事業に、市は1円も出さない一方で「景気の底を打つた」と認識する誘致企業へ8千万円を助成している。雇用増の見込みを明確に出来ず、障がい者福祉を削るなど、市民の生活を豊かにし、過疎対策として有効な予算となっていないため反対する。

問 平成23年度法人市民税が増と見込まれた理由は、

平成21年度に景気の底を打ったと思われる、前年度決算において増収の見込みがあるため。



現地調査(江津東小学校)

## ～平成23年度の主な事業～

事業名	予算額	事業の概要
給食センター費	5億2,780万円	学校給食を自校方式で行っている小学校・幼稚園及び未配食の中学校を対象に、より安心安全な学校給食を提供するため、江津学校給食センターを建設するもの。
公営住宅建設事業	4億3,875万円	シビックセンターゾーン内に、江津中央団地（3号棟及び5号棟）として平成22年度と平成23年度の2カ年の継続事業として建設を行うもの。
大規模ビル除去事業	2億340万円	老朽大型空き店舗（旧モア）解体除去を行うもの。
東高浜地区密集市街地整備事業	1億6,530万円	中心市街地にありながら、道路整備の遅れ、家屋の老朽化・密集化が著しく災害時には危険性の高い地域のため、快適な住環境整備を図るもの。
緊急経済・雇用安定化対策事業	1億1,230万円	リーマンショック以降の景気悪化に伴い、市内企業の経営及び雇用環境に回復が見られないため、新たな雇用創出を図るもの。
地域医療等支援対策事業	3億1,806万円	医師住宅建設を含む済生会江津総合病院が行う医師・看護師確保及び離職防止対策としての各種事業に対し補助金を交付するもの。

桜満開の丸子山公園を散歩する園児



問 公立・私立保育所保育料の負担金について、公立保育所は昨年に比べほぼ同額、私立保育所が昨年に比べ600万円の減額となっている理由は、

保育料は4月入所見込み数をもとに算定している。私立保育所の方は、少子化の影響等もあり入所見込みは昨年より下がっているため。

問 国内では、ワクチン接種による死亡例があると聞くが、本市の状況は。

市内の各病院では、Hib接種114件、小児用肺炎球菌ワクチン122件で副反応の報告はきてない。

問 放課後児童クラブの利用負担金が昨年と同額で計上してあるが、待機者が出る中で今後の設置の予定は。

現在、6クラブ設置しており、あと2つの小学校区は未設置であるが、要望は出ていない。今後、10人以上要望が出た場合、設置について検討する。

問 広報広聴費が昨年に比べ大幅に伸びている理由は、

定住再構築元年として、ホームページや新聞紙上を通じて定住対策の詳細を発信する。また、県が実施する「神話のふるさと」島根「推進事業」に関連する本市の独自の取り組みについて、情報を発信するため。

問 消火栓設置事業の内容は。

消火栓の新設11カ所を予定している。事業費570万円の内訳は、新設に520万3千円、修繕に50万円となっている。また、緊急性の高いところは水道課と協議し行う。

常任委員会

審査内容

総務文教委員会

委員会に付託された議案3件について審査を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

職員との給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

平成22年人事院勧告及び島根県人事委員会勧告に準じ、職員の時間外勤務手当支給割合の加算条件に所要の改正を行うもの。

江津市過疎地域自立促進計画を変更することについて

「内容」 「築港線道路整備事業」未来を拓く江津塾事業」など過疎地域自立促進のための事業を追加するとともに、特別事業における基金積

立対象事業を明示するなど追加変更するもの。 跡市辺地に係る総合整備計画を定めることについて

「内容」

現在の跡市辺地に係る総合整備計画は、平成22年度をもって終了する。同辺地内における市道山中線道路改良事業等、引き続き整備すべき事業であることから、平成23年度を初年度とする5年間の総合整備計画を策定するもの。

建設厚生委員会

委員会に付託された議案6件、陳情5件について審査を行った。

議案

議案6件については、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

有福温泉湯の町神楽殿設置及び管理に関する条例の制定について



オープンした有福温泉湯のまち神楽殿

「内容」

平成22年度宝くじ助成金を活用して整備した「有福温泉湯の町神楽殿」について定めるもの。

【委員質問】

指定管理者が管理する場合の表現がわかりにくい。市民に理解しやすい表記を。

指定管理者が管理する場合は、要綱等により丁寧な説明を行う。

江津市企業立地促進条例の制定について

「内容」

本市の企業立地に係る各種補助制度を定め、江津市工場立地促

進条例、「江津市ソフト産業立地促進条例」及び「江津市工場等立地賃借料補助金交付要綱」の2条例、1要綱を統合整備するもの。

江津市生活バス運行事業に関する条例の一部を改正する条例制定について

平成23年4月1日から減便される石見交通川戸線の代替措置として、本市が生活バス川戸線を新たに運行するために改正するもの。

【委員質問】

料金設定が適正でないのでは。

石見交通川戸線の料金体系と同様に設定している。

江津市工場立地促進

条例の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について

「内容」

江津市工場立地促進条例等の統合・廃止に伴う条例の名称の改正、及び条例名を「江津工業団地企業立地促進条例」に改正するもの。

市道の路線の変更について

「内容」

波子久代線、御幸通線及び新開1号線の起点変更、また、近原線の終点を変更するもの。市道の路線の認定について

「内容」

渡滝尻線、近原2号線、港町東1号線、港町東2号線、港町東3号線及び港町西1号線の6路線を認定するもの。

陳情

陳情5件については、採択2件、不採択3件となり、採択された2件については意見書を提出した。

「交通基本法」制定を求める意見書の提出について

「結果」

賛成多数により採択すべきものと決した。

安心・安全な公共事業を推進するため、地方建設業界の存続・発展と国土交通省の事務所・出張所及びダム管理所等の拡充・存続を求める意見書の採択について

「結果」

賛成少数により不採択すべきものと決した。市道江津敬川海岸線の整備について

「内容」

傷みが目立つ市道江津敬川海岸線を、歩行者や自転車者が安心して通行できる状態に整備していただきたい。

「討論」

【反対討論】

この件については予算が付き、取りかかっている案件である。また、陳情されるのであれば住民の意見を聞き、内容をしっかりと調べて行くべきである。地元が

らの要望は出していない。

昨年度から県への重点要望事項にも、県道昇格を盛り込み取り組んでいる。個別路線の陳情は格別の配慮として取り扱わないこととなっている。

市からの説明で随時また適宜整備をしていると受け止めている。

国県に係る事業の範ちゅうに入る部分もあり市の所管に属さない。

【賛成討論】

地域住民の声を聞かずに出したと言ったが、出したのは市民だ。また、特に西部の方が頻繁に使うが、必要なのはどこに住んでいても同じである。砂の堆積を100%遮断するのは難しいがきちんとした対応が必要。予算が付いていることについては公表して市民に知らせるべきである。

＝結果＝

賛成少数により、不採択すべきものと決した。

# 委員会審査の焦点 2つの陳情

## TPP意見書の提出について意見がわかる。

日本のすべての産業がマイナスか!?

### TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)参加に反対の意見書の提出について

= 内容 =

国が検討しているTPPへの参加は、あらゆる国内産業に大打撃となり、地域経済全体に大きな被害を及ぼすことになるため、参加に反対する意見書を提出していただきたいというもの。

【反対討論】

この陳情は全ての産業においてとなっているが、産業界、特に製造業においては、大多数が賛同という方向で新聞報道等で目している。良い面、悪い面があるということで国会でも慎重な議論がなされている。特に本市は企業誘致をする立場からしてもこの陳情内容はふさわしくない。

【賛成討論】

陳情書では、340万人の失業者がでると予測されており、国内の失業率は10%になる。地域経済のみならず、日本経済そのものが冷え込むようであれば、農業だけでなく経済的観点からも意見書の提出に賛成。

= 結果 =

賛成少数により、不採択すべきものと決した。

### TPP交渉に関する意見書の提出について

= 内容 =

わが国の食料安全保障と両立できないTPP交渉への参加に、反対する意見書を政府・関係機関へ提出していただきたいというもの。

【反対討論】

なし

【賛成討論】

現時点ではセーフティネットの構築がされておらず、対策もないため、TPP交渉に参加すべきでない。

国民の食の安全を守るためTPPに参加すべきでない。

TPPの問題は避けて通れないが、農業を改革し国内食料安全保障を整えてから、貿易拡大の方法を考えるべきであるので、意見書の提出に賛成である。

= 結果 =

異議なく採択すべきものと決した。

関係機関へTPPに  
対する意見書を  
提出しました

(要約)

関税の撤廃に関し原則例外を認めないTPPは、非関税障壁の撤廃や人的な交流の緩和など幅広い分野での自由化を図ろうとする交渉であり、江津市においては、きわめて深刻な影響を与えることとなる。一方で貿易立国である我が国にとっては、自由貿易の拡大は多くの恩恵をもたらすものであり、参加は不可欠との意見があるのも事実である。そうした意見を踏まえ、自由貿易と農業の再生の両立を目指す必要がある。したがって、国内農業等への十分なセーフティネットを構築することなく環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)に参加することに反対する。

平成23年3月18日

江津市議会

平成22年度  
一般会計  
補正予算

補正後  
**9,735万9千円減** 159億2,076万7千円

(参考) 昨年度同期補正後予算額172億9,536万7千円

特別会計補正予算  
(水道事業会計除く8会計)

**9,074万2千円減**

<平成22年度 3月補正の主要事業>

事業名	予算額	事業の概要
学校給食費	7,265万6千円	現在整備中の新給食センターの事業費を23年度予算に組換えを行った。
ふるさと農道整備事業	1,957万8千円	国の経済対策による県事業の追加で、農道整備を行うもの。
森林整備加速化・林業再生事業	3,990万円	経済対策として松枯れ、なら枯れの伐倒駆除を行うもの。
地域介護・福祉空間整備等推進事業	4,793万8千円	小規模特別養護老人ホームの整備を行うもの。

**賛成** 全員により原案可決  
(一般会計補正予算)

・ 予算審議結果  
一般会計補正予算  
原案可決【賛成全員】  
特別会計補正予算  
(国民健康保険事業、国民健康保険診療事業、老人保健医療事業、後期高齢者医療事業、住宅新築資金等貸付事業、公共下水道事業、簡易水道事業、農業集落排水事業)  
・ 水道事業会計補正予算  
原案可決【賛成全員】  
その他審議された市長提出議案  
・ 原案可決【賛成全員】  
同意議案(3件)  
承認議案(1件)  
条例議案(5件)  
一般議案(5件)  
については、いずれも原案のとおり可決されました。  
功労者表彰者は次の方です。

自治会長として、功績者 藤田利作氏、消防団員として、功績者古川政博氏・滝本 豊氏・近本 孝氏・濱野健一氏。  
江津市及び江津邑智消防組合公平委員会委員については、佐々木良二氏を再任しました。  
人権擁護委員候補者の推薦については、田野美恵子氏の推薦

本会議で出た討論内容

議案第4号  
多田 料金が他の生活交通バスの200円に対し、始発から終点まで乗れば800円であること。江津駅に乗り入れないこと。江津町本町地区では下車のみで乗車出来ないこと。  
以上のことから市民の利便性を考慮した条例改正でないため反対。

陳情第2号  
多田 市道江津敬川海岸線は、交通量が多く安全の確保が必要である。巨額の予算はかかるが、少しでも早い整備を働きかけることが市議会の役割。市民の道路行政への陳情であることから、市議会が市民の付託に応えるために賛成。



整備について陳情が出された市道江津敬川海岸線に同意しました。

## 議案等の議決結果

議案番号	件名	議決結果		多田 伸治	横田 省吾	藤間 義明	山根 兼三郎	森脇 悦朗	島田 修二	茅島 昇	石橋 孝義	盆子 原民生	河野 正行	藤田 厚	田中 直文	山本 誉	永岡 静馬	福原 昭平	土井 正人	
		議決日	結果																	
同意第1号	功労者の選定について	2月28日	同意																	
同意第2号	公平委員会委員の選任について	3月18日	〃																	
同意第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃	〃																	
承認第1号	専決処分報告について	2月28日	承認																	
議案第1号	有福温泉湯の町神楽殿設置及び管理に関する条例の制定について	3月18日	可決																	
議案第2号	江津市企業立地促進条例の制定について	〃	〃																	
議案第3号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃																	
議案第4号	江津市生活バス運行事業に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃																	
議案第5号	江津市工場立地促進条例の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃																	
議案第6号	江津市過疎地域自立促進計画を変更することについて	〃	〃																	
議案第7号	跡市辺地に係る総合整備計画を定めることについて	〃	〃																	
議案第8号	市道の路線の変更について	〃	〃																	
議案第9号	市道の路線の認定について	〃	〃																	
議案第10号	平成23年度島根県江津市一般会計予算を定めることについて	〃	〃																	
議案第11号	平成23年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計予算を定めることについて	〃	〃																	
議案第12号	平成23年度島根県江津市国民健康保険診療所事業特別会計予算を定めることについて	〃	〃																	
議案第13号	平成23年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計予算を定めることについて	〃	〃																	
議案第14号	平成23年度島根県江津市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算を定めることについて	〃	〃																	
議案第15号	平成23年度島根県江津市公共下水道事業特別会計予算を定めることについて	〃	〃																	
議案第16号	平成23年度島根県江津市簡易水道事業特別会計予算を定めることについて	〃	〃																	
議案第17号	平成23年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計予算を定めることについて	〃	〃																	
議案第18号	平成23年度島根県江津市水道事業会計予算を定めることについて	〃	〃																	
議案第19号	平成22年度島根県江津市一般会計補正予算(第7号)を定めることについて	〃	〃																	
議案第20号	平成22年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)を定めることについて	〃	〃																	
議案第21号	平成22年度島根県江津市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第3号)を定めることについて	〃	〃																	
議案第22号	平成22年度島根県江津市老人保健医療事業特別会計補正予算(第3号)を定めることについて	〃	〃																	
議案第23号	平成22年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	〃	〃																	
議案第24号	平成22年度島根県江津市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	〃	〃																	
議案第25号	平成22年度島根県江津市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)を定めることについて	〃	〃																	
議案第26号	平成22年度島根県江津市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)を定めることについて	〃	〃																	
議案第27号	平成22年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)を定めることについて	〃	〃																	
議案第28号	平成22年度島根県江津市水道事業会計補正予算(第4号)を定めることについて	〃	〃																	
議案第29号	平成22年度島根県江津市一般会計補正予算(第8号)を定めることについて	〃	〃																	
議案第30号	市道の路線の認定について	〃	〃																	
意見第1号	国内農業等への十分なセーフティネットを構築することなく環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)に参加することに反対する意見書の提出について	〃	〃																	
陳情第13号	「交通基本法」制定を求める意見書の提出について	〃	採択																	
陳情第14号	安心・安全な公共事業を推進するため、地方建設業界の存続・発展と国土交通省の事務所・出張所及びダム管理所等の拡充・存続を求める意見書の採択について	〃	不採択																	
陳情第1号	TPP交渉に関する意見書の提出について	〃	採択																	
陳情第2号	市道江津敬川海岸線の整備について	〃	不採択																	
陳情第3号	TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)参加に反対の意見書の提出について	〃	〃																	

議

長

賛成

賛成でない人

# 市民の声を行政に問う

原稿は質問した議員自身が必要をまとめたものです。

## 基本方針の考え方は

市長 / 定住対策の展開

### 政策方針



石橋 孝義

問 第5次総合振興計画の基本方針 雇用の場の確保 地域医療体制の確保 子どもを産み育てやすい環境づくり 教育力の向上への基本的な考え方は。

定住対策のための

施策として 新規企業立地と地元企業への支援を行い、経営の基盤強化を図る。 行政、

市民、地域一体の取り組みで地域医療を支える体制を構築する。 精神的、経済的両面から子育て支援を行う。

本市への誇りと愛着を持ち、世界へ伸びる子どもに育つ教育を基本とした市政運営を行う。

問 新年度予算は、事業の集中による歳出増

に対し、30億円の起債や基金繰入れで歳入不足を補って編成されている。 将来も耐えられる財政運営を。

本市の課題に対応した大型事業が集中したため、過疎債等の有利な起債を充当して予算編成した。 今後も自主財源の確保に努めるとともに、第5次行財政改革を継続して進め、事業の見直しと選択を計画的に行いながら健全な財政運営に努力する。



#### 起債とは

借金である地方債を自治体が発行すること。

#### 基金繰入とは

自治体が保有する貯蓄(基金)をとりくずして財源とすること。



整備されたシビックセンター公園

## 下水道料金

### 桜江地区の

### 変更理由は

市長 / 不公平感があるため



多田 伸治

問 桜江地区の下水道料金を人頭制から従量制へ変更することで57%の世帯で料金が上がる。 変更の理由は。

合併協議会で「統一する」と調整事項になっていたこと、人頭制では排水量にかかわらず料金が一定で不公平感があるため。

問 不公平を申し立てた市民の数は。 また料金的大幅な値上げに桜江地区から反対の声があった場合の対応は。 調査はしていない。 全国的に排水量によって料金を課しており、不公平感があるのでは

ないかと思っている。 激変緩和措置の検討と説明会を行うが、仮定

他市を見て物を言う必要はない。 議会と相談して行う。

の質問には答えられない。 問 過疎対策として兵庫県相生市の子育て支援を参考に予算を組む考えは。



桜江町にある下水処理施設



### 財政運営

## 資産売却で 財源確保を

市長/その都度検討



森脇悦朗

問 売却可能資産の状況は。売却により財源確保を。

毎年大きな変動はないが、地域要望で公共用地として残す状況がある。売却を可能にするには測量等の費用がかかるので、買い手があればその都度検討し、売却する。

問 公共施設の更新にはコストがかかる。適切な予防保全対策により計画的に長寿命化を。橋りょう施設などは長寿命化計画を立てている。各計画を基本に、個々に毎年度確認を行い、安全性を優先

し、コスト面を配慮しながら計画する。  
問 財務書類4表により、本市の財政構造を理解する必要がある。今後の財政健全化に向

けた将来展望は。財務状況を示す上で、何が必要で、何をやめるのか、厳しい選択もしていかなければならない。行政コストの圧縮、将来負担の適正化などを検討し、予算編成している。将来世代に負担をかけないよう市政運営をする。



長寿命化工事が始まる新江川橋

### 農業環境

## 現状と振興策は

市長/多方面に実施



藤間義明

問 農業従事者の現状と中山間地域における農業振興を。

現状は、2005年と2010年を比較すると、農業従事者は619人から476人と減少し、高齢化率は78%から82%と高くなっている。中山間地域における農業振興は、ほ場整備を全域で実施す

るとともに、農業生産法人などによる農業経営の法人化を推進する。  
問 地産地消を進め、食糧自給率の向上を。  
昨年4月にオープンしたサンピコごうつは、予想を超える実績が上がっている。  
経営体も160から241まで増加している。

センターは地元農産物の供給体制の整備を進めている。  
問 本市特産品の更なる支援を。  
特産品の桑茶、豚肉、ゴボウはメディアを活用して都市部へのPRを含め、これまで以上にあらゆる機会を通じてさまざまな取り組みを行う。

9月に稼働する給食



買い物客でにぎわう「サンピコごうつ」

## 教育環境

## 学校再編の今後は

教育委員長／全面支援する



茅島 昇

問 食育推進計画で「か  
しい食」は。地産地  
消の推進をするところ  
が、主食・副食が継続  
的に供給できないので  
は。

「かしい食」とは  
体をつくる 自然の  
恵みを大切にする 心  
を豊かにする 地域色  
の4項目で家庭を原点  
に関係者が一体となっ  
て実施する。主食の米  
については、すべての  
量を地元産利用、副食  
野菜等は、サンピコご  
うつからの納入を計  
画している。学校給食  
に必要な供給量の確保  
が、今後の課題となる。

問 学校整備基本方針  
による施策や統廃合な  
どの現状と今後の考え  
は。

学校整備検討委員  
会に諮問。平成20年3  
月に複式学級を解消し、

段階を踏んで統合する  
のが望ましいとされて  
いる。複式学級は総じ  
て望ましくない状況と  
考える。子供達の教育  
環境について意見交換  
を行い、苦渋の選択を  
された。委員会として  
今以上に大きく育つよ  
う全面的に支援する。  
現在、第2次基本方針  
を策定しており、今後  
の方向性を示す予定。



建設中の給食センター

## 火災警報器の普及を

市長／啓発活動が必要

## 防火対策



盆子原 民生

問 住宅用火災警報器  
の取り付けが義務化さ  
れる。当消防本部にお  
ける普及率は県内で一  
番高かったが、全国平  
均以下である。普及率  
向上の方策は。

6月1日の義務化  
により急がれている。  
当消防組合に於いては、  
市広報・チラシ配布・

イベントでの広報活動  
を行っている。特に自  
治会や地域消防団、婦  
人防火クラブ等の各団  
体の協力により、普及  
率向上につながった。  
今後活動をより強め、  
さらなる啓発活動が必  
要と認識している。

バイオマスタウン  
構想を平成22年3月31  
日に公表。構想は二つ  
の基本的方針として、  
第一に地域ぐるみで取  
り組むバイオマスタウ  
ンの形成を通じ、環境  
意識、ふるさとに対す  
る愛着の醸成を図るこ  
と。第二にバイオマス  
の活用を通じた産業  
振興の実現と雇用の創  
出を図ることを定めた。



「風の国」木質バイオマスチップボイラー

問 「神話のふるさと『島根』推進事業」が3ヶ年にわたり行われる。石見神楽の担い手確保と振興は、観光立県に結びつけるために、石見観光振興協議会で「石見神楽」と「万葉柿本人麻呂」をキーワードに連携し事業展開する。石見神楽は土着の郷土芸



山根 兼三郎

## 伝統文化

### 万葉フェスタ誘致を

市長 / 最大限努力する



人麻呂まつりで石見相聞歌を朗詠

能として石見で光り輝く貴重な文化で、誇りをもって継承していくべき。市内には18社中あり、江津市石見神楽協議会と連携を深めながら伝承について取り組む。職員の中にも神楽団への加入や世話、ボランティアなどで、熱心に子供たちの指導をしている者もいる。

問 市内各所には古くから柿本人麻呂の伝承を守り続けている人たちがいる。「全国万葉フェスティバルin島根」は本市での開催を積極的に誘致するべきでは。

石見相聞歌は本市が中心と考える。万葉部会の事務局は本市にあり、開催できるように最大限努力する。

問 水道未普及地域の早急な解消や、独自の雇用対策なども定住対策として重要。本市が描く将来像は、少子・高齢化の現状は、日本の課題でもある。まず一番に雇用の場の確保に総合的に取り組み、自助と共助のなかで地域のきずなを一層深め、誇りの持てるふるさと江津を目指す。効率的な財政運営と市民感覚を両にらみし、慎重に進める。

問 三江線沿線地域公共交通総合連携計画は、ダイヤの見直しやポイントの復活など、利用



山本 誉

## 施政方針

### 本市が描く将来像は

市長 / 市民感覚に配慮

しやすい形態の確立が不可欠だが、その対応は。また事業の効果は

三江線活性化協議会において、これまで以上の負担をJRに求めることは、結果として三江線の存続を危うくするという共通認識の下で議論されてきた。現状の中であらゆる手段を講じて利用者の増加を目指す計画とした。



定住促進に向け地元での先進事例発表

問 老老介護など、家族介護の介護者がリフレッシュするためレスパイトケアは。 介護者のケアは大変重要であり、これに対応するのがショートステイサービス。近年利用しにくくなっていくが、現在建設中の特別養護老人ホームでのショートステイの整備



永岡 静馬

## 介護対策

### 高齢者に安心生活を

市長 / 今後、要検討

と小規模多機能型居宅介護事業所に対応するため、第5期介護保険計画の中で拡充整備を図っていく。

問 テレビ電話などを活用した、高齢者の見守り対策と介護ボランティアへのポイント付与による介護予防を。

見守り対策での、インターネット利用は、接続料の負担の問題が



#### レスパイトケアとは

乳幼児や障がい者、高齢者などを在宅でケアしている家族を癒やすため、一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービス。



増築したグループホーム「モモ」



#### 介護ボランティアへのポイント付与とは

65歳以上の高齢者が、地域で介護支援のボランティアをすることで、ポイントが付与され介護保険料に還元できる制度。

ある。介護ボランティアへのポイント付与については、ポイントや基金管理を行う管理機関の設置費用があり、現行制度との整合性を見極めて検討したい。

## 議会豆知識

### 【会議公開の原則】

「普通公共団体の議会の会議は、これを公開する」と地方自治法の原則が明文化されています。

市議会は選挙による市民代表の会議であり、会議の内容を市民に公開し、批判の機会を確保することとされており、原則として自由に傍聴ができます。

しかし、会議の円滑な運営を行うため、傍聴規則で幾分の制限が定められているとともに、議場の秩序を維持するため、取締りの権限が議長に付与されています。

なお、委員会も本会議と同様に公開を原則としておりますが、委員会も秩序を守るため、取締りの権限が委員長に付与されています。  
〔地方自治法第115

条（議事の公開の原則）：第130条（傍聴人の取締り）

### 【傍聴】

地方公共団体の『傍聴』は、本会議、委員会それぞれ取り扱いが異なります。

(1) 本会議は公開が原則であり、傍聴の自由は、議員以外の者が会議の模様を直接に見聞することを意味します。  
(2) 委員会も公開を原則としています。しかし、委員会は内部審査的機関であり、そこでは本会議とは異なって自由活発な討論が期待され、しかも委員会室が公開に適する構造になっていないことなどにより、定数を定めるとともに、協議内容によって傍聴を規制することもあります。本会議、委員会では傍聴は自由ですが、傍



聴規則が定められ、種々の規制が加えられています。傍聴人が公然と可否を表明したり、騒ぎ立てたりして会議を妨害するときは、議長や委員長はこれを制止し、その命令に従わないときは退場させることができます。

その他、傍聴人の守るべき事項として、写真、映画等の撮影及び録音等の禁止や、違反に対する措置などが定められています。

## 波積ダム建設へ向けて県知事へ要望活動



波積ダム対策特別委員会では、県の検証活動中の都治川治水ダム建設事業（波積ダム）について、平成23年1月12日に県知事ほか関係部署に建設促進を求める要望書を提出しました。

溝口知事は、「検証では当然必要という結果になると思われませんが、国にも早期建設を要請していきます」と答えられました。

その後、3月14日に検討委員会から都治川下流域が長年洪水に見まわっており、安心な生活がおくれるためにも事業継続が妥当という答申がでました。

## 議会広報・情報公開対策特別委員会研修会開催

市議会だより編集委員会では、2月14日に邑南町・議会広報特別委員会の日高勝明委員長をお招きして、市民に議会の動きがわかりやすい『市議会だより』作成のため、議会広報研修会を行いました。

日高委員長は邑南町議会の議会だよりでは、『コンクールで賞を取るための編集よりも、自治体の特色がよくわかり、一般質問など議員の活動が見える編集を行っています』とし、言葉遣いの点でも、誰が読んでもわかりやすい編集に心を砕いていることを話されました。



## 議会改革へ向けて雲南市へ視察



議会改革特別委員会では、現在、「議会基本条例」の制定に向けて協議を進めています。条例の中に議会による議会報告会の実施を盛り込むこととし、実際に行っている雲南市議会の議会報告会会場を訪問し、自治協議会など各種団体を単位に、市民との意見交換などを視察しました。

30分の議会報告の後、市民の皆さんから約1時間にわたって多くの意見が寄せられ、即答できないものは後日団体長に報告し、内容についてはホームページで公開されていました。本市においても、議会報告会を実施し、多様な意見を取りまとめ、執行部へ提案できる体制づくりを進めてまいります。

# 議員クラブで義援金募金活動実施

トピックス

3月議会定例会の予算委員会会議中に東北で大きな地震があったとの一報が入りました。会議後早速テレビをつけたところ津波が襲っている画面に皆釘付けになりました。議会では、過去昭和47年災害、昭和58年災害における本市の災害に対して全国各地より多くの支援を受けていることから、議員クラブの呼びかけにより、義援金を送ることから、議員金の募金活動を行うこと、過去に視察で訪れた自治体にお見舞いの意志を表すことを決めました。

募金活動については、議員クラブの主催で休会日に全議員が参加し、道の駅など5箇所に分かれて4時間ほど募金活動を行いました。市民の皆さんのあたたかい善意により53万円もの浄財が集まり、市を通じて被災地に送ってもらいました。皆さんの善意に心より感謝いたします。

市内 西部で



市内5カ所に分かれて募金活動を行いました。たくさんの皆さんから善意の募金を頂き有難うございました。

このたびの東日本大震災により被災された皆さんおよび関係者の方々に對し、心からお見舞い申し上げます。被害に遭われた地域の日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

江津市議会



市内 東部で

## お知らせ

次回定例会日程  
6月6日(月)から  
6月24日(金)までの  
予定です。

請願・陳情の

受付について

請願書及び陳情書の受付は、本会議初日の8日前の午前中までです。詳しいことは議会事務局までお問い合わせください。

## 編集後記

東日本大震災は、今なお多くの行方不明の方がいらつしやることや、原発被害など心配ごとが続きます。そうした中、改めて優しくにふれあいました。義援金募金活動では、「大変だから少しでも役立つ」と、呼びかけたほとんどの方が募金箱に入れてくれました。

未曾有の災害に他人ごとでないとの思いが日本全国に広がり、世界中の人が心配しています。ただ、被害の甚大さにより実態が明らかにならないことから、被災地に配分されていないとの報道がありましたが、復旧、復興には時間がかかると思いますが、せめて被災者の皆さんが、いち早く不安無く生活できるように対応して頂けるよう願います。(森脇悦朗)

## 東京においでの際は、ぜひ東京事務所へ ～観光地や宿泊など何でもお気軽にご相談ください～

島根県東京事務所は、一人でも多くの方に「島根県」のあらゆる情報をアピールするために取り組んでいます。各市町村の皆様からいただく様々な情報は、大変貴重です。堅いイメージですが、全くそのようなことはありません。

東京においでの際は是非、島根県東京事務所にお立ち寄りください。



〒102-0093  
東京都千代田区平河町2丁目6番3号(都道府県会館11階)  
TEL 03-5212-9070 FAX 03-5212-9069  
e-mail: tokyo-ofc@pref.shimane.lg.jp

編集・発行責任者  
議長 土井 正人

議会広報・  
情報公開対策  
特別委員会

委員長 森脇 悦朗  
副委員長 島田 修二  
委員 多田 伸治  
委員 横田 省吾  
委員 藤田 厚  
委員 河野 正行